

山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第52号（通巻第119号）

2006年9月26日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

「小学校に於ける英語教育」～第15回教育フォーラムのご報告～

山梨大学教育人間科学部主催、第15回教育フォーラムが7月29日（土）工学部A2-21教室において開催されました。小学校の先生を中心に学生や一般の方約150人が参加し、「小学校に於ける英語教育」～中教審外国語専門部会の提言をうけて～をテーマに理念と実践の両面で今後の英語教育の在り方を探りました。

第一部では、中教審外国語専門部会委員を務める東京大学の岡秀夫教授が小学校英語教育推進の立場から、「小学校英語教育のあるべき姿」と題して広島修道大学の山田雄一郎教授が慎重派・中間派の立場から、また、「英語支配論から小学校英語教育を考える」と題して反対派の立場から筑波大学の津田幸男教授がそれぞれ基調講演し、技術力やコミュニケーション能力の育成、言語論などの観点から見解を述べました。第二部では、実践報告として、山梨県教育委員会の坂本祐二指導主事から、山梨県に於ける小学校英語教育（小学校英語活動）についての取り組みの経過やその内容についてお話があり、それを受けて推進校として英語活動に取り組む葦崎北東小学校の作地秀二先生と貢川小学校の一瀬孝仁先生から、ゲームや歌を取り入れた教育実践例の紹介がありました。課題として、授業のマンネリ化や学校間格差、地域間格差、授業時数やALTの指導の違いなどが挙げられました。参加者からは、「三者三様の立場から基調講演をしていただき有意義であった」「理論と実践がなかなか結びつかない現状で、現場も理論研究を深めていかなければならないと感じた」「現場の様子をより身近に感じられる実践報告に触れる機会を持てて良かった」「今回のフォーラムに参加してまた一つ自分の視野を広げることができた」といった感想を聞くことができました。



第2回期間採用者等研修のご報告（山梨大学地域連携事業）

今年度2回目の期間採用者等研修を8月4日（金）に開きました。講師には、現在、指導的立場でご活躍中の小・中・高・養護学校の先生方や元管理職の先生方11名をお迎えし、校種別に教科や生徒指導等に関して1日研修を実施しました。当日は期間採用や非常勤等をされている先生方75名が参加し、最後まで熱心に研修されました。受講生からは「自分の子どもへの接し方や授業の仕方を振り返ることができた。謙虚な姿勢を忘れず2学期も頑張りたい」「研修1は実践的な内容であり、研修2ではとても精神的に重要なお話でバランスの良い内容だった」「ディスカッションでいろいろな人の悩みや貴重なお話を聞くことができて良かった」「今回初めて参加したが本当に参考になった。病弱教育についての勉強をさらに深めていきたい」等の感想が寄せられました。なお、3回目を12月2日（土）に予定しております。



若手教員研修のご報告（山梨大学地域連携事業）

今年度の若手教員研修は8月18日（金）午後、本学部研究協力者であり、前本センター客員教授の永井達彦氏の「親への対応に悩む教師～保護者になりきれない親」を基調講演とし、小学校教育、中学校教育、高等学校教育、特殊教育の分科会ごと、4名のベテラン現職教員をグループアドバイザーとして研修を深めました。当日は基調講演、分科会を含めて30名の若手教員が参加しました。参加者からは「今回の研修は、生徒やその親とのコミュニケーションが中心となっていたが、非常にネガティブな面について知ることのできる良い機会となった」「他の学校の先生方の意見や先輩の先生方からの意見を聞くことができ、貴重な経験になった」「グループ討議の中で糸口が見つかった」「講師の先生のお話がとても参考になった。説得力のある内容だった」等の感想が寄せられました。

特別支援教育基礎研修のご報告（山梨大学地域社会連携融合プロジェクト）

8月18日（金）に特別支援教育基礎研修がM-12教室を会場に行われました。医学的側面からの研修を目的として、山梨大学医学部小児科医師・講師の相原正男氏により「発達障害児を認知神経科学的に理解するために」というテーマで講演をしていただきました。今年度は附属養護学校との共催という形で実施したこともあり、一般の方や教員等111名という多くの方が参加されました。参加者から「普段聞けない医学的内容で良かった」「興味深い内容だった」「違う見方ができた」等の感想があり、大変好評でした。

平成18年度学校図書館司書教諭講習の報告

学校図書館司書教諭関連5科目のうち「学校図書館メディアの構成」は、今年度、教育実践総合センター専任教員の鳥海、澤登、成田を中心に、附属図書館の協力をえて実施されました。8月21日～24日の4日間、毎日5コマの講義・実習が行われ、現職教員を含め48名が受講しました。関係者にはいろいろとご協力いただきました。ありがとうございました。

「説明的表現力を高める」～第2回地域貢献教育研究会のご報告～

9月6日（水）、県総合教育センターにおいて、第2回地域貢献教育研究会を開催しました。今回は、大学側からの情報及び研究の紹介ということで、国語教育講座の岩永正史教授から、「説明的表現力を高める～私たちが持っている知識＝schemaに着目して」というテーマでご講演いただきました。

メンバーの他に、総合教育センターの雨宮所長をはじめ研修主事等約30人が参加し、事前に出されていた文章構成課題を各自が持ち寄る中でたいへん興味深いお話を聞くことができました。「説明の重要性」から始まり「表現・理解の背後で働くものは何か」について、そして「説明（文）スキーマを明らかにする」ということで、認知心理学との関連や実際の教科書や現場の実践例をもとに、読む思考を引き出す学習活動の大切さについて研究を深めることができました。

第4回「教育相談室連絡協議会」のご報告（山梨大学地域社会連携融合プロジェクト）

9月11日に第4回教育相談室連絡協議会を開き、相談事業の現況報告や附属学校園への支援について協議しました。8月現在、附属学校への相談も含めて大学側が75件、養護学校で21件の相談に応じています。次回は12月初旬頃を予定しています。教育相談室の備品も徐々に整備されてきました。教育相談室に関するご意見や利用についてはセンターまでご遠慮なくお寄せください。

10年経験者研修山梨大学講座のご報告

7月27日（木）放送大学において、山梨県教育委員会「10年経験者研修山梨大学講座」が開催されました。この大学講座は平成15年度より本センターが窓口となり、学部の先生方のご協力を得て実施しています。今年度は杉浦修氏、小山勝弘氏、古屋義博氏、山口亮子氏、センター専任教員の山下和之、鳥海順子が担当しました。10年経験者の先生方には、科学セミナー、健康セミナー、教育セミナー、法律セミナー、心理セミナーから自由に2つのセミナーを選択し、受講していただきました。山梨大学講座には98名と多くの先生方が受講しました。これから来年度の企画を立てますが、本学部の多様な専門性

を生かした内容を考えておりますので、学部の先生方のご協力をよろしくお願いいたします。

第3回教育臨床研究会のご報告

9月20日(水)10時半より(於J号館5F多目的教室)松野安美教諭(若草中学校教諭・本学大学院生)藤巻桂吾教諭(勝山小学校教諭、本学大学院生)を講師に「特別な教育的ニーズへの支援を考えるー歴史の指導」の学習会をしました。次回は12月5日(火)「特別な教育的ニーズへの支援を考えるー英語の指導」です。ご関心のある方はどうぞ直接会場にお出かけください。

夏季休業中の教員研修協力について

これまで教育実践総合センターは、学内の関係部局や先生方と連携して、教員研修に協力してまいりました。今夏は、以下の研修に協力しました。

- ・7月28日 山梨県教育委員会特別支援教育コーディネーター研修において県内の特別支援教育コーディネーター教員を対象に講演。演題：発達に遅れや偏りのある子どもへの理解と援助。山梨県総合教育センターにて。参加者200名(鳥海)。
- ・8月1日 幼稚園・保育所初任者研修にて幼稚園教諭、保育士を対象に講演。演題：親の願い、教諭の願い、- 基本的生活習慣を身に付けさせたい -。山梨県青少年センターにて。参加者80名(鳥海)。
- ・8月1日 山梨県総合教育センター教員研修 高等学校数学科の授業改善研修会において講演。演題：情報社会における統計教育のあり方。参加者：12名(成田)。
- ・8月8日 甲府市教育研究協議会教育相談部会研究会にて。教育相談担当教員を対象に講演。演題：スクールカウンセリングの現状と課題。山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター多目的教室にて。参加者17名(鳥海)。
- ・8月17日 山梨県総合教育センター教員研修 情報モラル研修会において実習・講演。演題：「情報モラル」の指導の在り方について。参加者：32名(成田)。
- ・8月18日 第32回山梨県私学教育研究会情報部会研修において、私学の高校教員を対象とした情報教育についての講演。研修テーマ：時代の変化に即応できる情報教育、演題：「情報の科学的な理解」領域の教材研究。山梨学院大学にて。参加者：20名(成田)。
- ・8月21日 玉穂南小学校校内研究会にて同小学校教員を対象に講演。演題：共に感じる豊かな心を育むための『伝え合う力』の育成。玉穂南小学校にて。参加者20名(鳥海)。
- ・8月23日 増穂町峡南幼稚園特別支援教育研修にて地域の幼稚園、保育所、教員を対象に講演。演題：多様な発達ニーズに寄り添う保育。増穂町民会館にて。参加者20名(鳥海)。
- ・8月24日 双葉東小学校校内研究会にて同小学校教員を対象に講演。演題：特別支援教育の理解と対応。双葉東小学校にて。参加者30名(鳥海)。
- ・8月25日 身延北小学校校内研究会にて同小学校教員を対象に講演ならびに事例研究助言。演題：アスペルガー障害の理解と支援。身延北小学校にて。参加者12名(鳥海)。
- ・8月26日 障害児学校部夏季学習会にて特殊教育諸学校教員を対象に講演。演題：軽度発達障害児をとりまく課題。県立青少年センターにて。参加者20名(鳥海)。

これまでのセンターだよりの一部は<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/pub/nl/>で見ることができます。